

地域産業界に貢献できる技術者の育成

山梨県立葦崎工業高等学校（山梨県葦崎市）は1963年に開校し、山梨県下に2校しかない工業教育専門高校の一つである。校訓「和」のもと、後輩をいつくしみ先輩をうやまう精神を掲げ、また教育理念を「ものづくりを通じて地域産業界に貢献できる技術者の育成」として、多くの技術者を産業界に輩出してきた。



就職内定率100%達成を祝い、校舎に掲げられる懸垂幕

生徒の7割が就職することから、毎年、「就職内定率100%」を目標に掲げ、16年連続で達成している。

今年の3年生の進路希望は、就職希望者が121人、進学希望者が41人。昨年度は就職希望者が116人、進学希望者が43人で、今年度も昨年度とあまり変わらない人数となっている。

就職内定率100% 16年連続達成

昨年と比較すると厳しい状況となっている。

進路指導部の先生は「求人はコロナウイルス

毎年、多くの生徒が資格取得に取り組んでいる。昨年度は技能士検定合格者が135人、1000以上の資格を取得した。本校は6学科あり、学科によって特に力を入れている資格も異なる。電

全校生徒が資格取得に取り組む

昨年と比べると厳しい状況となっている。進路指導部の先生は「求人はコロナウイルス

の影響で悪くなっているが、希望者数より求人数は多いので、安心して自分に合う会社を選んでもらいたい」と話している。今年の採用試験はコロナウイルスの感染拡大に伴う休校を受け、就活準備に支障が出ていることから、9月16日から10月16日に変更された。

就職内定率100%、17年連続達成となるのか。3年生は厳しい就職戦線にこれから挑む。

子機械科は機械加工技能士やアーク・ガス溶接技術講習、電気科は電気工

事、環境化学科は危険物取扱者、システム工学科は製図検定、情報技術科ではプレゼンテーション検定、制御工学科ではシーケンス制御技能士など。紹介した資格以外にもさまざまなことを授業で学び、資格取得に活かしている。



本校には運動部が14部、文化部が12部、工業高校特有の部活など、さまざまな部活がある。その中でも代表的な部活がレスリング部である。

レスリング部 大活躍

レスリング部はインターハイや国体で多くの選手が入賞し、日本の代表として世界大会にも出場している。また、2012年ロンドンオリンピックで男子フリースタイル66kg級に出場し、金メダルを獲得した米満達弘選手、2020東京オリンピック男子グレコローマスタイル60kg級の代表に選ばれた文田健一郎選手、ともに本校OBである。

この他、太鼓部、写真部が総文祭や関東大会に出場し、良い成績を収めている。葦工生は部活動を通して、心身を鍛え、仲間と友情を深めている。

高知県 紹介

「あ「高知で美味しいもの食べたかったなあ。高知の名物は何かかな？」

りゅうや「カツオのたたきとか、屋台餃子とかいろいろあったけど。僕は鍋焼きラーメンが食べたいなあ。山梨で鍋焼きと言えば、うどんだからね」

「私は地鶏の土佐ジローの肉料理が食べたいなあ。新鮮で美味しいみたい。食べ物も美味しいけど、見所もいっぱいあるみたいよ」

「そだね。高知城や坂本龍馬記念館に行ってみたいなあ」

「私は桂浜や安居渓谷。美しい景色がみたいな」

「やはり女子だね。僕は歴史物がいいかな」

「今年の総文祭はWeb開催になり、行けなくなって、残念だったけど、また、いつか行きたいね」

「そだね。見所満載で美味しい物がたくさんある高知に皆さんも、ぜひ、行ってみてください!!」